

洛水中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

洛水中学校ブロック9年間の教育目標

『中学校卒業時の自立・自己実現のための確かな礎を築く』

『中学校ブロックの中で9年間を見通した連続性のある教育活動の構築を目指す』

『学力向上を中核に、意図的・系統的な小中一貫教育を積極的に進め、学びと育ちの充実を図る』

～9年間で目指す子ども像～

基礎的な学力をしっかりと身に付け、生き生きと学習に取り組む
児童・生徒（言語活動）

仲間と積極的に関わり、共に学ぶことの喜びを感じることのできる児童・生徒（協働活動）

約束やルール、規律などを守り、行動することのできる児童・生徒（規範意識）

核となる取組

学力向上

自尊感情を高め、規範意識を育成する

具体的な取組

各教科

- ・課題の把握と共有
- ・学力実態分析と共有
- ・言語活動の充実
- ・指導と評価の一体化

小中合同研修会

- ・合同授業研修会
年2回
- ・夏季合同研修会

交流体験活動

- ・体験入学、部活動見学、給食試食会
- ・部活動交流

情報交換

- ・学級編成資料の作成
- ・小中連絡会
- ・個別指導計画の活用
- ・保護者、地域の情報の共有

洛水中学校ブロック 小中一貫教育各部会

三校管理職（三校教頭会）

小中連携主任会（各校教務主任会）

生徒指導部

生徒指導主任

「規範意識や社会性をつけるため、約束やルール、規律などを確実に身に付けさせる」

- ・インターネットによる問題行動、いじめ、不登校、保護者対応等の情報共有と対応の検討
- ・いろいろな問題をもった生徒を、多方面から支援していく

学習指導部会

研究主任

「学習意欲の向上の工夫と学習習慣の徹底」

- ・授業方法や教材についての見直し
- ・わかる授業、考えさせる授業、やる気を育てる授業、思考を表現できる授業の実践
- ・一読一筆・家庭学習・ノート作りの取組の連携
- ・家庭学習の習慣化を図る取組の共通理解と実践
- ・道徳教育を通じた自己肯定感の育成

人権教育部会

人権教育主任

「実生活につながる指導内容の工夫」

- ・コミュニケーション能力の育成
- ・指導案の交流
- ・人権学習の参観
- ・人権学習、人権教育における小中共通の課題について検討し、目標等を設定する。

総合育成支援教育部会

総合育成支援教育主任

「課題解決に向けた指導や支援の工夫」

- ・LD等発達障害の児童生徒の現状分析と問題点を共有し、適切な支援のあり方を探る。
- ・中1に入学してくる生徒の具体的な引継ぎを密にする。

事務部会

事務職員

「連携校の課題の解決や教育活動の活性化につながる取組を行う」

- ・チーム制による事務機能の向上